

※車両に使用されているエアコンガスとエアコンオイルの種類に合わせてご使用下さい。

※チャージホースは、製品ごとに使い分けて下さい。



**エアコンガス R134a と R1234yf、エアコンオイル PAG と POE の混用は、
エアコンの性能が低下するだけではなく、エアコンシステム損傷の原因となります。**

※"R"はRefrigerant(冷媒)の頭文字で、各種フロンを一括して呼ぶ際に用いられています。

エアコンガス	R134a(=HFC134a) ※		R1234yf(=HFO1234yf) ※	
エアコンオイル	PAG(ポリアルキレングリコール)	POE(ポリオールエステル)	PAG(ポリアルキレングリコール)	POE(ポリオールエステル)
車両の表示ラベル	例:ND-OIL 8 	例:ND-OIL 11 	例:ND-OIL 12 	例:ND-OIL 11
適合商品	 マキシクール R134a PAG 荷姿:30mL×10	 マキシクール R134a POE 荷姿:30mL×10	 マキシクール R1234yf PAG 荷姿:30mL×10	 マキシクール R1234yf POE 荷姿:30mL×10

マキシクール注入方法

① チャージホースの準備		<ul style="list-style-type: none"> ●蝶ネジ(A)を反時計回りに最後まで回して下さい。(内側の穴開け針を引っ込めます) ●固定リング(C)を回して蝶ネジ側に寄せて下さい。 ●エア抜きバルブ(D)を閉めて下さい。 	 チャージホース(R134a専用) ※R1234yf専用はホースが赤色です。
② マキシクールのセット		<ul style="list-style-type: none"> ●ネジ口(B)にマキシクールをセットして下さい。 ※締め過ぎに注意して下さい。 ※R1234yf用の製品は逆ネジ仕様です。 ●固定リング(C)を回して、缶に密着させて下さい。 	
③ 車両側への接続		<ul style="list-style-type: none"> ●カップラー(E)を車両のエアコン低圧バルブに取り付けて下さい。 ※エンジン停止の状態で行います。 	
④ チャージホース内のエア抜き		<ul style="list-style-type: none"> ●エンジンを始動して、エアコンのスイッチを入れて下さい。 ●エア抜きバルブ(D)を少しずつ緩め、ガスがブシュッと出たら確実に閉めて下さい。 	
⑤ マキシクールのバルブの穴開け		<ul style="list-style-type: none"> ●蝶ネジ(A)を時計回りに最後まで回して下さい。(内側の穴開け針が缶のバルブに穴を開け、塞いでいる状態です) 	
⑥ マキシクールの注入		<ul style="list-style-type: none"> ●缶を逆さまにして、蝶ネジ(A)を反時計回りに最後まで回して注入して下さい。(缶のバルブに開けた穴が開いている状態で) ●注入後、カップラー(E)を取り外し、低圧バルブにキャップをして下さい。 ●10分程度、エアコンを作動させたままに下さい。 	

※車両のエアコンガスとエアコンオイルの種類(仕様)に適合した製品を使用して下さい。 ※チャージホースは製品ごとに使い分けて下さい。 ※チャージホース内のエア抜きは必ず行って下さい。
※チャージホースは汚れない様に保管して、詰まりや亀裂など異状があるものは使用しないで下さい。 ※同時に2本以上は注入しないで下さい。

発売元/株式会社ユー エス シー

〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1

TEL 042-351-0011 URL: <http://www.usccom.co.jp>